

令和7年度事業 評価委員会による二次評価

1 評価基準

二次評価は以下の4段階で行う。

「 S 」 ……管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「 A 」 ……管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「 B 」 ……管理運営が良好であった施設

「 C 」 ……管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

2 評価

項 目	評価内容
施 設 名	東京都立埋蔵文化財調査センター
二次評価	A
管理状況	・館内や遺跡庭園は清掃が行き届いており、利用者が安全で快適に施設を利用できるような環境を常に整えている。 ・日常的な維持管理は計画書に基づき適切に実施している。さらに、設備不良時も柔軟かつ迅速に対応し、利用者の利便性の向上に努めていることは高く評価できる。
事業効果	・企画展では、これまで調査してきた近代遺跡の成果を通じて、首都東京の明治維新以降の発展を「埋蔵文化財」の視点で振り返る、デジタル機器を活用したわかりやすい展示を実施した。また、「東京文化財ウィーク」など都事業と連携した特別展示やガイドツアーも実施した。 ・「お子さま考古学教室」の申込方法の見直しや「親子で縄文の森あそび」の内容の充実を図るなど体験型イベントの改善を図るとともに、学校の要望を受けてオンラインで特別講義を行う「出前授業」の新たな取組を行うなど、常に事業内容の見直し等を継続的に行っている点は高く評価できる。 ・遺跡庭園内通路の舗装区間を拡大し、段差の解消を図るなどユニバーサルデザイン化を推進し、利用者の声を反映した「遺跡庭園内の植物銘板」を追加するなど、利用者が安全・快適に楽しく利用できる施設環境の改善・維持を行った点は評価できる。 ・一般利用者の接遇等に対する満足度は非常に高く、利用者の視点に立った事業企画や運営を行っている。
その他	・考古学の専門知識と高い接遇能力を有する調査研究員により、発掘調査の成果を活かした普及事業を実施している。今後も埋蔵文化財保護の重要性を広く伝えられるよう、人材育成に取り組み、知識やスキルの継承を図っていくことが望まれる。 ・指定管理事業と発掘調査事業が相互に連携して、引き続き質の高いサービス提供を維持していくことが望まれる。 ・子供達や日頃文化財に接する機会が少ない方が文化財に親しむ機会を増やせるよう、デジタル機器の活用などにより学校や区市町村との連携を一層進めるとともに、外国人にもアクセスしやすい環境の充実を図るなど、文化財の保存と活用に向けたすそ野の拡大を図っていくことが望まれる。